“顎顔面補綴”投稿規定

（平成14年10月2日一部改定）
（平成17年5月7日一部改定）
（平成18年2月24日一部改定）
（平成27年12月1日一部改定）
（平成28年10月20日一部改定）
（令和8年3月16日一部改定）

1.　投稿資格

本誌に投稿する著者（共著者）は，本学会会員あるいは所定の手続きを済ませた非会員に限る．ただし，編集委員会が認めたものはこの限りではない．

2.　原稿内容

原稿の内容は，本学会の目的に沿った研究成果，臨床報告などで，未発表のものに限る．

3.　倫理規定

本学会誌に投稿される論文は，以下の倫理的要件を満たしていなければならない．

1）　ヒトを研究対象とする研究

ヒトを対象とする研究・症例報告に関しては，ヘルシンキ宣言に準拠して実施し，倫理的に適正な手続きを経ていなければならない．そのうえで，以下の事項を遵守すること．

(1) 所属機関の倫理審査委員会，または本学会が認める倫理審査委員会の承認を受けていること．非医療機器を使用する症例報告や医療機器や医療材料の適用外使用を含む症例報告についても，倫理審査委員会の承認を得なければならない．倫理審査の実施有無，審査機関名，承認番号を論文本文中に記載すること．

(2) 症例報告においては，書面による患者（対象者）の同意（インフォームド・コンセント）を取得し，その旨を論文本文中に記載しなければならない．

ただし，所属施設においてあらかじめ包括的な同意（包括同意）が取得されており，その範囲内で症例報告が行われる場合には，個別の同意に代えることができる．この場合でも，包括同意の取得状況について論文本文中に明記すること．

(3) 書類の添付および保管

投稿にあたっては，以下の書類を添付すること．

a. 倫理審査委員会の審査通知結果の写し（承認証明書等）

同意文書は投稿時に提出する必要はないが，著者が責任をもって保管し，編集委員会の求めに応じて提示できるようにしておかなければならない．

b. 包括同意を用いる場合は，同意の取得を示す書式等を著者が確認・保管し，必要に応じて提示できる状態にしておくこと．

(4) 学会指針の遵守

投稿論文は，日本顎顔面補綴学会が規定する「個人情報保護に関する指針」を遵守していなければならない．

2）　動物を対象とする研究

動物を研究対象とする研究については，所属研究機関の「動物実験に関する指針」に準拠し，適切な倫理的配慮のもとに実施しなければならない．また，その旨を論文本文中に記載すること．

4.　利益相反（Conflict of interest，以下 COI）の開示

利益相反の有無について，「文献」の前に記載し開示する．なお，論文投稿時に本学会 COI 委員会の定める「様式2：日本顎顔面補綴学会雑誌：自己申告による COI 報告書」を添付する．

5.　原稿の投稿方法，査読，証明書などの発行

1）　原稿種別は，総説，原著論文，研究論文，症例報告，認定医症例報告，技術紹介，などとし，投稿票（顎顔面補綴の綴じ込み）に希望を表示する．ただし，認定医症例報告以外の種別は，編集委員会で決定する．

2）　論文投稿は，印刷物の郵送もしくはファイルのメール添付にて行う．郵送の場合は，投稿原稿にコピー（表図を含む）1部，投稿原稿ファイルを保存した CD 等のメディア，投稿票，チェックリスト，倫理審査委員会の審査結果通知の写し，様式2：日本顎顔面補綴学会雑誌：自己申告による COI 報告書を添え，投稿規定末尾の送付先に「書留郵便」で送付する．メール添付の場合は，上記のうちコピーを除くファイルにセキュリティコードを設定して添付送信し，セキュリティコードのパスワードは別メールで連絡する．ただし署名・捺印を要するチェックリストと様式2：日本顎顔面補綴学会雑誌：自己申告による COI 報告書，投稿票については，PDF ファイルを添付し，原本を郵送する．

3）　原稿が編集委員会に到着した日付で，原稿受付の確認文書を発行する．

4）　投稿された原稿は，編集委員会で査読を行い，採否を決定する．必要に応じて査読委員を委嘱する．

5）　査読の結果，原稿，表，図，写真などの加筆，削除，修正を求めることがある．なお，修正稿を提出する際には，原稿の文字色変更やハイライト（蛍光ペン）などにより修正部分を明示する．

6）　採用が決定した後に，掲載する巻・号を記入した論文掲載証明書を発行する．

7）　掲載された投稿原稿は，原則として返却しない．

8）　掲載順序は，編集委員会が決定する．

Presented by Medical*Online

6.　原稿の様式

1)　**邦文原稿は**，A4判用紙を使用し，口語体，新かなづかい，漢字まじり平がな，横書きとする．本文は1頁につき**30**字～**40**字×**20**行とし，明朝体12ポイント程度のフォントサイズとする．ページ番号を最下段中央に，ラインナンバーを原稿の左側に記入する。なお，文中の欧文は半角文字で印字する．

2)　原稿の1頁目を**表紙**とし，**表題**，**著者名**，**所属機関**（主任または指導者名）の順に記載する，以上に**英訳**をつける．さらに，表題が35字を超えるものは，**柱（ランニングタイトル）**用として35字以内の略題を表紙の下段に記載する．

3)　邦文原稿には，**英文抄録**（Abstract，200語以内で表図は用いないこと）と，次頁に**和訳**をつける．

4)　3語以内の**キーワード**（英語と和語併記）を英文抄録の末尾に記載する．

5)　**欧文原稿**は，A4判用紙にダブルスペースでタイプまたはワードプロセッサーで清打ちする．表紙の次に，英文抄録（200語以内）と和文抄録（600字以内）を添付する．

6)　総説と原著論文は刷り上がり20頁以内，研究論文，症例報告，技術紹介は同10頁以内とし，講演抄録は本文600字以内とする．ただし，編集委員会が認めた場合はこの限りでない．なお，講演抄録には表題などに英訳を付ける．

7)　原稿は次の順とし，(1) 表紙を第1頁として (6) 表図説明までの通しの頁数を各頁の最下段中央に記載する．印刷物を郵送する場合は，一括して左上隅をホチキスなどでしっかり止める．邦文原稿を例にとると次のようになる．

(1) 表紙（表題，著者名，所属機関など）
(2) 英文抄録，キーワード（3語以内）
(3) 英文抄録に対応する和文
(4) 本文
(5) 文献
(6) 表図の説明（英文と和文併記）
(7) 表，図

7.　本文の記述様式

1)　原著論文の構成は，原則的に，Ⅰ．緒言，Ⅱ．研究方法（または材料と方法），Ⅲ．結果（または成績），Ⅳ．考察，Ⅴ．結論，ならびに文献の順とする．なお，研究論文，症例報告，技術紹介などについては，この限りではないが，可能な限り本誌の適応した構成とする．

2)　各項目の細分は，次のようにする．
Ⅰ，Ⅱ……，1，2……，1），2）……，(1)，(2) ……，a，b……，a），b）……，(a)，(b) ……．

3)　人名，地名，薬品名などは，原綴りを原則とする．なお，固有名詞は最初の文字のみ大文字で書く．

4)　微生物，動植物などの学名は，イタリックとし，最初の文字のみ大文字で書く．

5)　数字は，算用数字とする．しかし，数字を含む名詞，形容詞，副詞は漢数字とする．

6)　外国語は，原綴りを原則とする．

7)　英文において，改行はwordで切る．

8)　年代表記は，原則として西暦を使用する．

9)　数量の単位は，原則として国際単位系の基本単位，組立単位および併用単位を使用する（温度は摂氏を使用）．

10)　材料，器械は次のように表記する．
品名（規格，○○社），一般名詞（品名，規格，○○社）

8.　文献の記述様式

1)　文献は，引用した順序に引用箇所に……[1)]，……[2)]，……[3)] と上付きで番号をつける．同一箇所で……[1, 2)]，……[1–3)]などと連番で複数引用した場合は年代順とする．

2)　著者名の表示は，姓，名（外国人はイニシャルのみ）の順とする．

3)　共著の場合は，筆頭者を含め3名まで記して，4人目以下の共著者は，「他」または「et al」と略す．

4)　雑誌の略称は，当該誌が標榜する略称とする．それ以外は，医学中央雑誌の略名表（日本文献の場合）とIndex Medicus（外国文献の場合）に準拠する．

5)　原書あるいは原論文が得られずに引用する場合は，末尾に（……から引用）と付記する．

6)　投稿した未発刊の文献は，末尾に（印刷中）あるいは（掲載予定）と付記する．

雑誌文献の引用例

著者名：表題．掲載誌略名巻：頁-頁，発行年（西暦表示とする）．の順とし，頁は通巻頁とする．

1)　大山喬史，石橋寛二，大橋　靖，他：全国顎顔面補綴患者の実態調査とその診断治療体系確立の検討．顎顔面補綴　18：43-69，1995.

2)　Lemon, J. C., Martin, J. W., Chambers, M. S., et al: Technique for magnet replacement in silicone facial prostheses. J Prosthet Dent 73：166-168, 1995.

単行本文献の引用例

著者名：書名．版数，頁-頁，発行所，発行地，発行年．の順とし，書名は略記しない．また，同一の本で2か所以上を引用する場合は，頁数を省略する．

1)　清水正嗣：口腔腫瘍の診断と処置　Ⅲ．口腔の癌腫．初版，111-128，永末書店，京都，1982.

2)　Okason, J. P.: Management of Temporomandibular Disorders and Occlusion. 2nd ed, 281-300, Mosby, St. Louis, 1989.

Presented by Medical*Online

分担執筆の単行本文献の引用例

執筆者名：表題．編者または監修者，書名．版数，頁-頁，発行所，発行地，発行年．の順とする．

1）古田　勲：顎顔面補綴による修復法．清水正嗣，小浜源郁編，口腔癌〔診断と治療〕．460-475，デンタルダイヤモンド，東京，1989．

2）Riediger, D.: Recent trends in maxillofacial prosthetics. In: Souter, D. S. and Tiwari, R. eds. Excision and Reconstruction in Head and Neck Cancer. 337-350, Churchill Livingstone, Edinburgh, 1994.

翻訳書文献の引用例

著者名（翻訳者名）：書名（翻訳書名．版数，頁-頁，発行所，発行地，発行年），発行年．の順とする．

1）Beumer J., Ⅲ, Curtis, T. A. and Firtell, D. N.（田代英雄，大山喬史　訳）：Maxillofacial Rehabilitation, Prosthodontic and Surgical Considerations（顎顔面リハビリテーション補綴的，外科的対応．初版，183-236，クインテッセンス出版，東京，1988），1979．

9.　表と図について

1）印刷物を郵送する場合は，原則として表と図（写真）を1枚ずつA4判の用紙に貼るか，A4版光沢紙に印刷する．写真の大きさは，手札判程度とする．用紙に上下を明記し，右肩部に縮小率を「朱書き」するとともに，右下端に筆頭著者名，表と図（写真）の番号を記載する．または，下記のメール添付の場合と同様式で表・図のデータを保存したCD等を送付する．メール添付の場合はファイル名を「表・図（筆頭著者名）」としたPowerPointファイルの各ページに表と図を1枚ずつ貼り付け，表，図の番号と縮小率を付記する．もしくは表，図をそれぞれJPEGファイルとし，ファイル名を「表・図の番号（筆頭著者名，縮小率）」とする．

2）トレースを希望する図は「**要トレース**」，掲載希望寸法は右肩部に「**朱書き**」する．

3）スライドのままの表や図の原稿は，カラー印刷を希望する以外は受け付けない．

4）カラー印刷を希望しない場合には，白黒もしくはグレースケールとして十分に判別可能であることを確認する．

5）表と図（写真）は，引用順に，表1，表2……，図1，図2……のように一連の番号をつける．

6）邦文原稿の表図の説明文は英文と和文を併記する．

7）表の番号と説明文は，表の上部につける．

8）図の番号と説明文は，図の下部につける．

9）本文への表や図の挿入箇所は，本文右の欄外に「表1」，あるいは「図1」と朱書きで明示する．

10）顔写真には目隠しをするなど，表と図の個人情報には全て匿名化の処理を行う．ただし，患者の同意がある場合に限り，顎顔面補綴に関する写真の場合は，編集委員会で協議する．

10.　著作権

本誌に掲載された論文の著作権は，本学会に帰属する．ただし，本学会が必要と認めた時，あるいは外部から申請があった時は，編集委員会で審議し，掲載ならびに版権使用を認めることがある．

11.　複写権の行使

著者は，当該著作物の複写権の行使を本学会に委任するものとする．

12.　校正

1）著者による校正は，1回のみとする．

2）査読結果に記載された内容に関連しない箇所の加筆，訂正，削除などの変更は認めない．

3）校正を終了した印刷原稿と本原稿は，指定期日までに「**速達，書留郵便**」で速やかに返送する．

4）校正済みのゲラ刷りが指定期日までに編集委員会に返送されない時には，「**掲載可**」が無効となり，再投稿を求めることがある．

13.　掲載料

掲載料は刷り上がり1頁あたり10,000円とする．ただし，依頼原稿は6頁まで無料とする．なお，カラー印刷，トレース，英文抄録校閲費などは別途算定する．筆者が別刷りを希望する場合，その費用は筆者負担とする．

14.　原稿などの郵送先とEメールアドレス

〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11
一ツ橋印刷（株）学会事務センター内
日本顎顔面補綴学会事務局（編集委員会）
Eメール：max-service@onebridge.co.jp

15.　原稿の受付締切と，雑誌の発行予定

1号：1月末日締切，6月1日発行予定
2号：7月末日締切，12月1日発行予定

Presented by Medical*Online

投　稿　票

日本顎顔面補綴学会編集委員会

※ご投稿の際には必ずこの投稿票を原稿に添付してください.

※原稿受付締切日（1 月末, 7 月末）を過ぎますと, 査読ができません. 次号送りになりますのでご注意ください.

1. 掲載希望：第　　巻, 第　　号

2. 論文種別：（1）総説, （2）原著, （3）研究論文, （4）症例報告
（5）認定医症例報告, （6）技術紹介, （7）その他
※希望されるものに○をつけて下さい.
※最終的には編集委員会で決定します.

3. 表　　題：

4. 筆頭著者名：

5. 所属機関名（複数の場合は代表機関名）

6. 連 絡 先
・氏名：
・住所：〒
・電話：（　　）
・Fax：（　　）
・E メールアドレス：

7. 原稿の構成枚数
・原稿枚数（表題, 英文・和文抄録, 本文, 文献, 表図の説明を含む）：　　枚
・表：　　枚,　　図（写真を含む）：　　枚

8. 別刷希望部数：　　部

Presented by Medical*Online

貴稿が「顎顔面補綴」の最新の投稿規定に沿ったものであるか，表紙，英文抄録（和訳），本文，文献，表図などに関する投稿規定を再度ご確認下さい．

下記の項目をチェックし，最終確認した原稿をご投稿下さい．

□ 著者および共著者はすべて本学会会員である．
□ “顎顔面補綴” の内容に沿った論文である．
□ 未発表の論文である．
□ 希望する論文種別の規定頁数以内になっている．
□ ヒト・動物を研究対象とする内容については，倫理委員会の審査通知結果の写しを添付している．
□ 投稿票，チェックリスト，COI 報告書を添付している．
□ 原稿は，表紙，英文，和文抄録，本文，文献，表・図の説明，表，図の順となっている．
□ 本文の構成は，緒言，研究方法（材料と方法），結果（成績），考察，結論，文献の順に整っている．
□ 原稿は，A4 判用紙に 30 字～ 40 字× 20 行で，明朝体 12 ポイント程度の大きさである．
□ 原稿用紙の最下段中央に通し頁数を記載し，本文にラインナンバーを記載している．
□ 表紙の下段にランニングタイトルとして 35 字以内の略題を記載している．
□ 英文抄録（200 語以内），和文抄録（600 字以内と）キーワード（3 語以内，英語と和語）を記載している．
□ 年号表記は，西暦になっている．
□ 文献番号は，本文で引用した順序となっている．
□ 文献の引用例に沿って記載している．
□ 表や図（写真）の挿入箇所を明示し，原稿の右欄外に朱書きしている．
□ 表や図の説明文は，英文と和文を併記している．
□ 表や図，それに挿入している文字の大きさは適切である．
□ カラー写真，図のトレース，図の大きさの指定などの希望を記載している．
□ カラー写真を希望しない場合，白黒もしくはグレースケールとして十分に判別可能であることを確認している．
□「個人情報保護に関する指針」に沿って，目隠しなど，全ての表や図の個人情報は匿名化している．
□ 本文中に利益相反について記載している．
□ 投稿責任者の最終チェックを受けている．
□ 英文論文の場合，ネイティブのチェックを受けている．
□ 患者もしくは対象者に対して書面による同意が得られており，同意を得た旨を本文中に記載している．

・郵送の場合
□ 投稿原稿は，正 1 部とコピー 1 部が揃っている．
□ 表や図（写真）は A4 判用紙に貼付または印刷するか，所定の形式で CD-R（W）などに保存している．
□ 投稿原稿を保存した CD-R（W）などを添付している．
・メール添付の場合
□ 添付ファイルにはセキュリティコードを設定している．
□ セキュリティコードのパスワードを別のメールで送信している．
□ 表や図（写真）は PowerPoint ファイルに貼付，もしくは JPEG ファイルとしている．

チェック者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印（　　年　　月　　日）

Presented by Medical*Online